



Surprise Discovery of Coral Reef

豪グレートバリアリーフで120年ぶりに新たなサンゴ礁発見



東京タワーの高さを超える新たなサンゴ礁が見つかった

これだけは覚えておきたい!!

coral reef [kɔːrəl riːf]	サンゴ礁
skyscraper [skáískrèipər]	超高層ビル
map [mæp]	～の地図を作る
sea floor [siː flɔːr]	海底
detached [dɪtætʃt]	分離した、孤立した、離れた

聴くこと、声に出すことが成長への近道!

🎧 編集長おすすめトレーニング

Practice 1 ▶ 英文を見ずに、CNNの生英語 (5) を聴いてみよう。
音声のダウンロード方法はpp.120-121をご覧ください。

Check!

Practice 2 ▶ 英文を見ながら音声を聴いてみよう。
必要ならゆっくりスピード (ポーズなし (6) / ポーズ入り (7)) も活用してみてください。

Practice 3 ▶ 日本語訳を参考に内容を理解し、音声を繰り返し聴いて耳を慣らそう。
さらに、音声をまねながら音読すると、吸収力がグンと上がります。

プラスアルファ ▶ 余力のある方は、巻末の問題集にチャレンジしてみてください。

Surprise Discovery of Coral Reef

A coral reef taller than some of the world's biggest skyscrapers has been discovered off northern Australia's east coast. It's 1.5 kilometers wide and 500 meters high. Scientists made this surprise discovery last week while mapping the sea floor around the Great **Barrier** Reef. It's the first time a new detached reef has been found in more than a century.

》》60 words (October 28, 2020)

豪グレートバリアリーフで120年ぶりに新たなサンゴ礁発見

世界最高層のビルを超えるほどの高さがあるサンゴ礁が、オーストラリア北部の東海岸沖で発見された。そのサンゴ礁は幅1.5キロにわたり、高さは500メートルにも及ぶ。先週、グレートバリアリーフ周辺の海底の地形図を作成していた調査チームが、この驚くべき発見をした。新たに（グレートバリアリーフから）孤立したサンゴ礁が見つかったのは100年以上ぶりだ。

（訳 石黒円理）

リスニングのポイント

本当はカナ表記では正確な発音を表せないのですが、音の大体のイメージをつかんでいただくために、あえてカナ表記を用います。「聞こえ方」のひとつの目安にしてください。

カナダ英語やアメリカ英語では、「ア」に近く聞こえる母音が、

[r] の音の前では、しばしば「エ」のように聞こえる。

4行目の **Barrier** 》》 [ベリア]

カナ表記の中の太字は、強く発音される部分を表します。また、括弧に入っている部分は、普通、日本人の耳には聞こえないか、実際に発音されていない音を表します。

barrierは、日本語では「バリア」と言いますが、カナダ英語やアメリカ英語では、しばしば [ベリア] のように聞こえます。barrierのbar-の部分の母音（つづり字はa）は、本来、catやmapなどに含まれる母音と同じですが、カナダ英語やアメリカ英語では、すぐ後ろに[r]の音が続く場合、しばしば「エ」のように聞こえます。ほかにも、arrow、barrel、carrot、carry、marathon、narrow、paradise、paradox、parrot、sparrowなどが、それぞれ [エ]口ウ、ベ

ロー、ケラット、ケリー、メラサーン、ネロウ、ペラダイス、ペラダーックス、ペラット、スペロウ）のように聞こえます。人名や地名でも、Harrisonが [ヘラスン] のように、Harryが [ヘリー] のように、Parisが [ペラス] のように聞こえます。また、marryは、しばしば [メリー] のように発音され、merryおよびMaryと同じ発音になります。

解説 南條健助（桃山学院大学国際教養学部准教授）